



先行一杯  
後方儘



ippaimama

<今週の予想>

◎ 13番マニエリスム

○ 8番ハルサンサン

▲ 14番シーキングザラヴ

△ 7番ナターレ

△ 2番ドラゴンウィスカー

首都圏に住まわれる3000万バクチ好きの皆様、まことにお待たせ致しました。ついに南関東競馬が一月振りに開催を再開したのです。この川崎開催は9R制の変則開催ですが、来週の大井からはナイター取りやめの他は普段通りの開催になるとのこと。ああ、ほんとにえがったえがった。閉鎖されたoff後楽園の前を通るたびに胸が痛みましたもん、わたし。ただいくらめでたくとも、馬券の方がスカばかりでは喜びも半減しようというもの。なんとか、ここはきっちり当てていきたいところである。

さて、本命はマニエリスム。ホッカイドウ競馬から転厩後の2戦は、大井の1600で底がさっぱり見えない楽勝ぶりで準重賞を制覇。時計的に見ても、桃花賞などは同日のC1戦(1:41.2)より早いのでかなりのもの。力が出し切れるなら男馬と混じったここでも見劣りはしない。2番手集団後方から抜け出す得意のスタイルも、前残り傾向にある今の川崎には合うだろう。「重賞の戸崎」というのも、キッチリ良い仕事をしてくれそうな予感がしてよらしい。敢えて不安な点を挙げるなら浦和の桜花賞が震災によって中止となり、代替開催もない見通しとなったことでここに回ってきたという経緯から、調整面がどうかというだけか。

潜在能力への期待だけなら、骨折休養明けのハルサンサンも外せない。前走千鳥特別では大出遅れをかましながら、終わってみればほぼ直線だけの競馬で上がり36秒台を叩き出して1着。しかも、4角で5頭分ほど大外を回ってのものである。あのレースに関して言えば規格外の強さを見せつけただけに、今回はそれがメッキか否か試金石の一戦となる。相手も強くなることで即座にあの競馬ができるはずもないが、ブートニアに楽勝したことも併せて考えると、ゲートをスムーズにでられたならかなり面白い存在だ。休み明けを割り引いても、対抗評価が十分妥当と見る。

穴っぽいところとしては、中央遠征で芝を2戦経験してきたシーキングザラヴ。その2戦はどちらもスローのよーいどん！なレースで、別に位置を上げられはしていないが下げているわけでもない。相対速度ほにやららな競馬。まあ、OPならともかく500万下でのものだけに過大な評価は禁物だが、一応中央の芝でも多少はなんとかする程度のスピードは持ち合わせているようだ。遠征前に破ったセイルアゲンもフラワーCで先行策を見せているし、なにかと不気味な存在ではある。もっともハルサンサンの勝った葉牡丹特別ではよいとこなしの8着で惨敗しているので、巻き

返しがどこまであるかは微妙。ブートニアを物差しにしても、その差は大きい。ここは川崎1600の大外枠という好条件がどれだけ活かせるかといったところか。

その他、ナターレとドラゴンウィスカーの実績馬2頭は上に上げた3頭からはやや劣る印象を受ける。具体的にはドラゴンウィスカーは前走が不良馬場の出遅れを考慮してもあまりに酷すぎ、ナターレは前走を百回繰り返してやってもマニエリスムに勝てるイメージが沸かない。どちらもどうもアタマでは買いたくない雰囲気だ。なので両馬共にヒモの△までとしたい。

---

本予想によって生じた損害等には、一切の責任を負いません。

<今週のてきと一雑感>

桜花賞は見事に外しました。人間、一番人気を買いたくないなんていうスケベな心持ちが先行しちゃいけません。今回はその反省をこめてわりと素直に◎を打ったんですが、こうすればあなっちまうのが競馬というもの。なんとなく、マニエリスム惨敗のイメージが見えるのは気のせいでしょうか.....

ところで桜花賞で何が一番光ったかといったら、それはアンカツの騎乗の巧みさでしょう。直線馬群の内側で閉じ込められているところで、並の騎手なら終わっていてもおかしくなかったはず。それを外に出来た一瞬の隙間にグイッと割り込み前を綺麗に開けてしまう。そして馬の方も、辛抱強く走る気を失わず、前が見えたらもう嘘みたいに弾け飛んでいく。まさに人馬一体の勝利。こういうGIは本当に良いもんです。ああ、北村騎手に期待するのは僕、もう辞めました(泣)

さらに、今日名古屋競馬場で行われた東海桜花賞も騎手が勝負師を立派にやってるレースでした。交流重賞クラスの実績馬キングスゾーン・マルヨフェニックスが一騎打ちという下馬評でしたが、勝ったのは格だけなら散歩は劣るマルカハンニバル。早めに抜け出すキングスゾーンが、外から捲りを仕掛けるマルヨフェニックスを警戒してコーナーをわざと外に膨れて回る。その開いた内側にマルカハンニバルはするするっと突っ込み、そのアドバンテージでなんとか猛追を振り切る。鞍上の児島騎手は、ラッキーだったにしても素晴らしい騎乗。拍手拍手。

まあ滅多にないからこそ素晴らしい騎乗としてこう楽しいわけなんですけど、やはり騎手の腕を感じさせるレースはよい。外を回るにしても、回し方って結構重要ですしね。南関や園田のトップ騎手、それに高知の赤岡騎手あたりはそこが本当に巧いんです。中央でも外人騎手が全盛となっている原状を打破すべく、もっと面白い騎手が増えてくれたらなあ、などと偉そうに呟いて終わります。

---

本予想によって生じた損害等には、一切の責任を負いません。